

GlycoTOKYO2018 シンポジウム (12 月 1 日)

会場 理化学研究所 鈴木梅太郎ホール

(理化学研究所 和光キャンパス: 〒351-0198 和光市広沢 2-1)

主催 GlycoTOKYO

共催 理化学研究所

(このシンポジウムは、理研シンポジウムの一環として行われています)

13:00-13:05 開会の辞

13:05-13:55 GlycoTOKYO 奨励賞講演

座長 伊藤幸成 (理化学研究所)

13:05-13:30

Dr. Ding Feiquing (理化学研究所)

Stereodivergent Glycosylation with Bimodal Glycosyl Donors

座長 松尾一郎 (群馬大学)

13:30-13:55

苫米地裕輔 (東海大学)

エンドグリコシダーゼを用いた糖鎖複合体の合成研究

13:55-14:15 休憩

座長 田中克典 (理化学研究所)

14:15-14:50

野上敏材 (鳥取大学)

電解グリコシル化反応の可能性: 自動化から環状オリゴ糖合成まで

14:50-15:25

津本浩平 (東京大学)

FcR-Fc 相互作用解析と次世代バイオ医薬品開発

15:25-16:45 ポスターセッション

座長 鈴木匡（理化学研究所）

16:45-17:20

佐藤ちひろ（名古屋大学）

遺伝的要因と環境要因が及ぼすポリシアル酸の変動と精神疾患

17:20-17:55

遠藤玉夫先生（都健康長寿医療センター研究所）

糖鎖構造から分かること、分かったこと

17:55-18:00 閉会の辞

18:00-20:00 懇談会・ポスター賞受賞式

ポスター発表目次

ポスター番号 (*はポスター賞対象演題)

1. Peni Ahmadi (理化学研究所), Katsunori Tanaka

Cytotoxic Studies of Natural Product Precursors for Therapeutic in vivo Synthetic Chemistry

2. 阿部純平 (理化学研究所)、Feiqing Ding, Adam T. Guy, Peter Greimel, 平林義雄、上口裕之、伊藤幸成

高活性 GPR55 アゴニスト開発を指向したスクアリル基修飾型糖脂質誘導体の合成

3. *石塚陽奈子 (お茶の水女子大学)、伊奈智恵子、竹川寛子、伊達公恵、小川温子
ウシ膵臓キモトリプシンとキモトリプシノーゲンの糖結合性の探索と酵素活性への影響

4. 石渡明弘 (理化学研究所)、成田覚、伊藤幸成

ビフィズス菌由来 β -L-アラビノフラノシダーゼの基質及び阻害剤の立体選択的合成研究

5. *碓井瑠智雄 (成蹊大学)、新田恭平、小泉亮、栗原大輝、戸谷希一郎

高マンノース型糖鎖のワンポット合成を志向した樹状型グリコシル化反応の開発

6. *内田真理恵 (お茶の水女子大学)、小川温子、本田善一郎

全身性エリテマトーデスに関連する Fc γ RIIB 膜貫通部多型を端緒とした Fc γ RII 会合状態の解析

7. 江田昌平 (理化学研究所)、田中克典

生体内メタセシス反応を鍵とした蛍光イメージングによる植物でのエチレン検出

8. *加藤颯 (慶応義塾大学)、松原輝彦、山本崇史、栄長泰明、佐藤智典

インフルエンザウイルスの高感度検出を目指した糖鎖ライブラリー固定化ダイヤモンド電極の開発

9. 金森功吏 (東京工業大学)、松山央、小倉俊一郎、岡崎茂俊、湯浅英哉

光増感剤応用を指向した水溶性グルコシルピレン:分子内グリコシル化反応を利用した 2-C-グルコシドおよび O-グルコシド

10. *狩野航輝 (群馬大学)、Peter Greimel, 松尾 一郎

Lyso-phosphatidyl- β -D-glucoside の合成

11. *川口奈奈美 (お茶の水女子大学)、富田千尋、檜館里奈、小川温子

脂質分解酵素腭リパーゼにおける糖鎖修飾の役割

12. *川野辺悠一 (成蹊大学)、倉垣尚弥、栗原大輝、戸谷希一郎

シリルアシスト型 1,2-cis- α -グルコシル化反応

13. *北川さくら（千葉大学）、岩本巧、藤沢海図、土肥博史、西田芳弘
糖脂質生合成前駆体 1,2-ジアシル-sn-グリセロールが示す特異な分子特性と配座挙動について
14. *北村貴士（慶応義塾大学）、奥山真衣、高橋大介、戸嶋一敦
 α -グルコシダーゼを選択的に光分解する光感受性分子—糖ハイブリッドの合成と機能評価
15. *黒澤静霞（お茶の水女子大学）、相川京子
シグナルペプチドのないタンパク質の細胞外移行機構-annexinA1 と galectin3 の比較-
16. *児玉雄大（東海大学）、稲津敏行
糖鎖転移反応の副反応抑制に関する研究
17. *小松莉奈（東京農工大学）、磯貝菜穂、櫻井香里
抗癌活性サポニン OSW-1の化学プローブを用いた OSBP パラログ選択的結合活性の解析
18. *小室晴香（千葉大学）、西田芳弘、土肥博史
o-ホルミルフェニルチオグリコシドの反応特性と生理活性糖鎖合成への応用
19. *酒井宏晃（東邦大学）、東田和樹、橋本悠介、齋藤良太、佐々木要
異常舟形配座糖を用いたグリコシル化反応とその反応機構
20. *佐藤僚祐（横浜市立大学）、太田悠葵、亀田康太郎、小泉匠、木村一雅、川崎ナナ
糖ペプチドの MS/MS データの自動解析システムの開発
21. *佐野加苗（群馬大学）、栗原大輝、黒岩歩美、石井希実、千葉 靖典、戸谷希一郎、松尾一郎
FRET 型プローブを用いた Endo- α -mannosidase の活性検出
22. *清水速人（東京工業大学）、田中浩士
N-Ac 環状カルバマートを有する糖供与体を用いる α (2,9)オリゴシアル酸の合成研究
23. *Foo Tun Xian（創価大学）、Hirokazu Sato, Kazuyoshi Itoh, Shoko Nishihara
Roles of glycans in Drosophila hematopoietic stem cells
24. *城代航（慶応義塾大学）、佐々木克昌、佐藤智典
糖鎖プライマー法によるがん細胞のラクト/ネオラクト型糖鎖発現プロファイル解析と細胞運動能との相関解析
25. Tadashi Suzuki（理化学研究所）、Hiroto Hirayama
Functional analysis of the generation of novel forms of free-glycans, free O-glycans, in budding yeast

26. *Ivan Smirnov (理化学研究所), Katsunori Tanaka

Synthesis of heterogeneous glycoclusters and investigation of glycan pattern recognition mechanism

27. 清野淳一 (理化学研究所)、朝武悠奈、原田陽一郎、武田陽一、瀬古玲、戸谷希一郎、松尾一郎、伊藤幸成、鈴木匡

ハイマンノース型糖鎖のライブラリー作成

28. *芹澤里佳 (お茶の水女子大学)、大津萌子、藤本香奈、深沢英乃、伊達公恵、坂上ひろみ、小川温子

スギヒラタケ由来の新規レクチン PPL2 と PPL3 の精製と *C. elegans* に対する毒性

29. *高柳昇平 (千葉大学)、岩本巧、阿部 至、高靖麗宇、土肥博史、西田芳弘

D-ヘキソフラノースを分子骨格にもつ人工糖脂質の分子設計、化学合成、機能評価

30. *瀧澤柚花 (東邦大学)、齋藤政司、橋本悠介、齋藤良太、佐々木要

異常舟形配座糖を用いたグリコシル化反応の基質許容性

31. *龍田真帆 (東京工業大学)、鷲谷奈々、佐藤由衣、鈴木博元、上原知也、荒野泰、田中浩士

セラノスティクス応用を志向した放射性アルキルハロゲン誘導体の合成とその機能評価

32. 伊達公恵 (お茶の水女子大学)、小川温子

膵 α -アミラーゼは小腸内糖鎖を介してインスリン分泌に影響を与える

33. Tsung-Che Chang (理化学研究所), Katsunori Tanaka

Chemical glycosylation in water via gold complex catalysis

34. *恒川龍二 (慶応義塾大学)、花屋賢悟、東林修平、片山和浩、杉本芳一、須貝威

配糖体を含む 3',4'-ジメトキシフラボン類縁体の合成、および BCRP を介した抗がん剤耐性に及ぼす影響

35. *Kazuki Tsubokura (理化学研究所), Kenward Vong, Sayaka Urano, Lin Yixuan, Tsuyoshi Tahara, Satoshi Nozaki, Regina Sibgatullina, Almira Kurbangalieva, Yasuyoshi Watanabe, Yoichi Nakao, Katsunori Tanaka

In vivo gold catalyzed reaction using glycocluster as organ selective metal carrier

36. Feiqing Ding (理化学研究所), Akihiro Ishiwata, Yukishige Ito

Stereodivergent Mannosylation Using 2-O-(ortho-Tosylamido)benzyl Group

37. *長井香 (慶応義塾大学)、佐々木克昌、佐倉隆馬、佐藤智典

糖鎖プライマー法によるがん細胞に発現するムチン型 O-グリカンの多様性/アミノ酸残基選択性の解析

38. *永田光穂（群馬大学）、佐野加苗、石井希実、飯野健太、松崎祐二、西川宜秀、
加藤紀彦、山本憲二、松尾一郎

コアフコシル化 N-グリカンに作用する ENGase の活性検出基質の合成

39. 中村佳代（理化学研究所）、下田泰治、田中克典

量的供給を目指した糖鎖クラスターの合成研究

40. *中山梓（東海大学）、稲津敏行

糖鎖転移反応によるヒペリシン糖鎖複合体の合成

41. Igor Nasibullin（理化学研究所）、Shohei Eda, Katsunori Tanaka

N-Glycoalbumin as carrier of transition metal catalyst

42. *新田恭平（成蹊大学）、栗原大輝、戸谷希一郎

高マンノース型糖鎖部分構造の立体選択的合成と糖加水分解酵素特異性解析への応用

43. *沼田智紀（東京工業大学）、桑原聖、金森功吏、渡会浩志、石井保之、湯浅英哉

光で免疫活性を制御できる糖脂質誘導体の開発

44. 野村昌吾（理化学研究所）、江河泰子、田中克典

ペプチドと糖鎖の相乗的な相互作用による細胞認識

45. *東田和樹（東京工業大学）、鯉沼僚輔、田中浩士

α (2,8)オリゴシアル酸誘導体の新規合成法の開発

46. *日比野明日香（お茶の水女子大学）、緒方彩、和田有紗、伊達公恵、小川温子

糖結合によるトリプシノーゲン活性化抑制作用とその作用部位の探索

47. *平井祐太（東京工科大学）、飯森愛美、丹沢将鉄、松崎巧実、佐藤淳、中村真男

鉄結合性蛋白質ラクトフェリンの糖鎖認識と抗腫瘍活性との相関解析

48. Hiroto Hirayama（理化学研究所）、Tadashi Suzuki

Establishment of new method for measuring the activity of cytosolic peptide:N-glycanase (PNGase) for studying the enzymatic activity of NGLY1-mutants derived from the patients of NGLY1-deficiency

49. Chengcheng Huang（理化学研究所）、Junichi Seino, Haruhiko Fujihira,
Tadashi Suzuki

Studies on the serum sialyl oligosaccharide

50. Kenward Vong（理化学研究所）、Katsunori Tanaka

Gold-catalyzed 2-ethynylbenzamide cyclization for anticancer drug release

51. *深川由季（東京工業大学）、藤牧諒、田中浩士

エピガロカテキンガレートの 2 量化によるウーロンホモビスフラバン類の合成法の開発

52. 藤木勝将 (理化学研究所)、田中克典

One-pot three-component double click strategy for radiotheranostics

53. Ambara R. Pradipta (理化学研究所), Katsunori Tanaka

Acrolein Click Chemistry-Mediated Cancer Imaging and Treatment

54. *前川丈武 (千葉大学)、須田栞、西田芳弘、土肥博史

チオエーテル基を用いた立体選択的グリコシル化の反応機構の解明と糖鎖合成への応用

55. *三吉惟道 (慶応義塾大学)、津川仁、鈴木秀和、佐藤智典

糖鎖プライマー法による CD44v9 強制発現細胞株における糖鎖の LC-MS 解析

56. *薮野利佳 (東海大学)、須貝威、稲津敏行

マイクロバイオリアクターを利用した糖鎖レスベラトロールの合成

57. *山田遥香 (東京工業大学)、杉山寛崇、中山仁志、岩渕和久、田中浩士

α -(1,2)分岐を持つ α -(1,6)マンナン 10 糖の収束的合成とその結核菌感染阻害活性評価

58. *山本大樹 (慶応義塾大学)、佐々木克昌、小坂威雄、大家基嗣、佐藤智典

糖鎖プライマー法を用いた前立腺がん細胞における去勢抵抗性の獲得に関わる発現糖鎖の解析

59. *吉岡桃子 (千葉大学)、大山可南、土肥博史、西田芳弘、鶴沢浩隆、瀬戸康雄

乳糖と卵黄成分を活用した生物毒素(リシン)の検出・無除染法の検討

60. *吉田勇輝 (東海大学)、吉田勇輝、西村知晃、苔米地祐輔

PNGase F マイクロバイオリアクターを用いた糖鎖修飾反応

61. Shengtao Li (理化学研究所), Tadashi Suzuki

Toward identification of a novel LLO-pyrophosphatase

62. *Yixuan Lin (理化学研究所), Kenward Vong, Tsung-Che Chang, Katsunori Tanaka

In Vivo Prodrug Activation Using Au(III)-catalyzed Hydroamination